



## パワースパウト Low Head Turbine

### 荷物入手後の開梱方法

#### 低ヘッド型(LH)



#### 著作権表示

PowerSpout LH Unpack method

#### 登録会社名

EcoInnovation社(ニュージーランド)

#### 商標表示

PowerSpout

#### 日本代理店

株式会社イズミ

#### 免責事項

当事者間で個別協議した場合を除き、本説明書による免責は以下の様に説明できます。

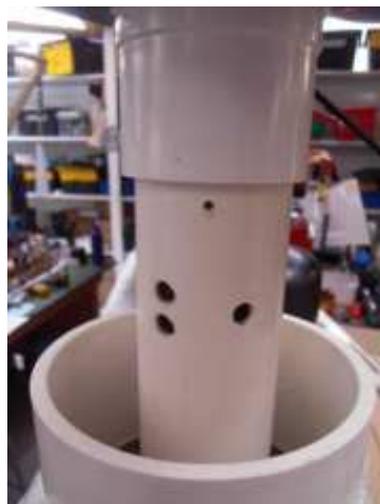
(a)メーカーの発表する如何なる書類上からの技術的精度、適応性等への保証は責任範囲内ではありません。

(b)メーカーの発表する如何なる書類上からの情報を基に実行し、又はその様な情報を利用実行後の直接的、間接的損失、損傷、（それが物的であれ、精神的であれ）等の使用者側での不利益に対する責任の対象者には、我々はなり得ません。メーカー発表全情報は、あくまでユーザーリスクとしてご利用下さい。

Nov.2015

航空荷物でお手元に低ヘッド発電システムが到着します。荷物は運賃節約の為、隙間の無いように組み合わされて梱包されていますので、**配水管アダプター**をタービンシャフトから抜きだす必要があります。（全体分解説明はサービスマニュアルを参照下さい）。

ヘッドアッセンブリーの下側の固定部とトリムを外し右写真の様に75mm管の穴を見える位置に出します。（右下）5mmの六角棒で2カ所の固定部を緩め、シャフトを固定している溝穴にマイナスドライバーを押し込みシャフトを解放します。



駆動軸とプロペラを引き出します。カップリングから取るには力を入れ回転します。

（右上）大き目のスパナを使い2個のPVCの溝穴付フィッティングを緩め、ベーンフランジを取ります。取り易くする為緩くして出荷しています。最後、右の写真の様に排水管アダプターを外します。



ベーンフランジを回転させながら、大きなナットを写真の様に保持して、ベーンフランジを元の位置にはめ込みます。きつくきつく締め込みます。



右の写真の様に駆動シャフトとプロペラを元の位置にはめます。マイナスドライバーを所定の位置に差し込んでおいて、楽に元の位置に戻す事。プロペラの一番先がカッターバーに触る位置まで叩き込みます。ここで回転が可能か、確認が必要です。



マイナスドライバーを外し 2x5Mのキャップスクリューを右写真の様に締め込みます。トリムカバーを元の位置に戻します。



(左写真)底からプロペラを見てセンター外れていると側面が擦れますのでドライブシャフト管（大き目の管）を下の写真の様に叩いてセンターを出します。



プロペラがPVCハウジングの中央に来るまで工夫します。プロペラが容易に回るまで繰り返します。使用すると固くなり、中央部に固定され、丁度良い所に収まります。

-end-